

## これまでのワークショップで出された「情報」に関する意見

### <情報提供、情報共有>

- ◆ 合意形成する上で大切だと思うこと：情報の提供・共有（知りたい情報を簡単に得られる環境）【第 2 回ワークショップ】
- ◆ 災害等については、情報をお互いに共有し、災害時協力して行動できるようにしていく必要があると考える。【第 3 回アンケート】
- ◆ イベント情報の一元化 高校生、大学生の参加【第 3 回グループワーク】
- ◆ 自然が豊かではあるが自然災害が怖いので、市で公開しているハザード情報をコミュニティ単位で共有して、実際の行動に移せるようにしていきたい。【第 3 回グループワーク】
- ◆ 情報提供【第 5 回アンケート】
- ◆ 情報公開を共有【第 5 回アンケート】
- ◆ 情報の発信、共有。年齢によるハンデ無く全ての人が必要な情報を手にすることができるような仕組み作り。【第 5 回アンケート】
- ◆ 情報共有のための具体的な条件【第 5 回アンケート】
- ◆ 情報公開、共有の方法。【第 5 回アンケート】
- ◆ 情報の共有化【第 5 回アンケート】
- ◆ 議会、行政、市民の情報を共有する。【第 5 回アンケート】
- ◆ 市民活動や市の情報共有【第 5 回アンケート】
- ◆ 市民、行政、議員（議会）の情報発信及び共有が必要【第 5 回アンケート】
- ◆ 情報共有のための条例（具体的に決めていく）【第 5 回アンケート】
- ◆ 情報共有の仕組みを作る（双方向の情報の流れの盛り込みが大切）【第 5 回アンケート】
- ◆ 情報共有（行政・議会・市民）【第 5 回アンケート】
- ◆ 情報・意見の共有化（行政、議会、市民それぞれの仕組み作り）【第 5 回アンケート】
- ◆ 情報の共有化（双方向）【第 5 回アンケート】
- ◆ 市民活動（団体）に関する情報の提供【第 5 回アンケート】
- ◆ 行政・議会・市民全ての情報を細かく開示し、互いに共有する。【第 5 回アンケート】
- ◆ 行政、市民、NPO・自治会の情報をそれぞれが共有する。【第 5 回アンケート】
- ◆ 情報共有を条項に盛り込む。【第 5 回アンケート】

- ◆ 情報公開、共有【第5回アンケート】
- ◆ 情報共有の場作り→更にその情報を共有する仕組み。【第5回アンケート】
- ◆ 各団体の情報を共有できるようにすること。【第5回アンケート】
- ◆ 情報共有できる仕組みを盛り込む。【第5回アンケート】

### <情報公開>

- ◆ 自治条例の位置が担保されること（不変であること）及び改正が約束されていること&情報公開が常【第5回アンケート】。

### <情報発信>

- ◆ 豊かな自然環境を守るにはお金がかかる → 税収をあげるにはどのようにしたらよいか → 逗子は宣伝が下手なのではないか → Google で検索したらトップに出るような情報発信が必要。ただし、市民の誰がやるのかは問題。【第3回グループワーク】
- ◆ 情報の発信と活用、実行やイベントを行う。【第3回グループワーク】

### <情報収集>

- ◆ WSに参加したり、よく広報の情報を拝見したり、facebookでも逗子市の情報を得ることに努めてはいるのですが、世代間ギャップを埋めるための行動がなかなかできずにいましたが、今日「市民として」と題して他の方々も同じようなことを考えていることを知られて良かったです。【第3回アンケート】

### <その他>

- ◆ 行政の強み：適確・適切な情報をもっている、情報力、情報収集力（特定の、個人情報の）、過去から学ぶ、自治体間の情報共有・資金力、情報をもっている、全体情報が見える【第4回グループワーク】
- ◆ 行政の弱み：縦割りー情報（市の状況）【第4回グループワーク】
- ◆ 市民・団体の強み：地域の情報がある【第4回グループワーク】
- ◆ 市民・団体の弱み：・情報がまとまっていない、情報収集できない（特定の）、全体情報が見えない【第4回グループワーク】